

朝市(地産地消)



【枇杷島学区】

■世帯数：3,433 世帯

■人 口：7,499 人

■面 積：0.987 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 地産地消推進活動に取組み、女性会主催による「朝市」を枇杷島学区集会所で毎月第2土曜日の朝9時から開催。
- ・ 野菜類は中村区から、米・トマトは港区（南陽町）から、卵は守山区から、こんにゃくは西区から、菓子類は学区内からと、地産地消の商品が並ぶ。
- ・ ミニフリーマーケットや“ふれあいサロンひまわり”も同時開催し、買い物後のコーヒーも楽しめるなど、住民の交流の場となっている。

【住民へのPR方法】

チラシの回覧

2 きっかけ、背景

生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が名古屋市で開催されたことをきっかけに、平成20年に生物多様性について、6回の勉強会を開催した。学習内容を受けて、生物の恵みに感謝し、フードマイレージや「身土不二」について考え、平成22年12月から地産地消の朝市を始めた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

女性団体・女性会

(2) 運営協力

女性会が存続する限り、活動を継続する。



4 実施のスケジュール

毎月第2土曜日に開催

開催前日 値段付け



開催当日 早朝に入荷し、値段付け



5 成果と課題

(1) 成果・効果

朝市の開催を通じて、住民間の交流が深まり、一人暮らしの高齢者の安否確認にもつながっている。

(2) メッセージ・アドバイス

人と人とのつながりが大切。

